

むささび

第20号

平成25年10月15日発行

JForest 北信州森林組合
〒383-0061 中野市大字壁田938-1
TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350
URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



合板用として間伐現場から搬出されたスギB材 …… 出荷を待っています。



森林組合PR事業を全県で行っています。

SBC ラジオ「モーニングワイドラジオ JJ」
毎週月曜日、朝 8 時 35 分から 40 分まで
「森と暮らそう」を放送しています。



今後の当組合放送予定 2月24日

主な内容

- 中間土場から県外へ出荷 …… 2
- 平成25年度の北信州植樹祭 …… 3
- バイオマス関連活動 …… 4
- 林業グループコンクール …… 5
- 高水林業協議会について …… 6
- HPリニューアルしました …… 7
- 森林組合からお知らせ …… 8

森林経営計画が本格運用となりました。

各現場から中間土場に集荷されています。

今年から森林経営計画制度が本格的に運用されました。当組合では集約化して森林経営団地を設定し、境界明確化を行った上で、所有者から承諾の得られた団地で搬出間伐を行っています。現在、管内6団地で搬出間伐を行い木材生産しています。また、補助制度が変わり、面積あたり金額であったものが、生産量により増減する金額となり、有利精算のため、これまで山に置いたC材も多く生産するようになりました。

生産した木材は、A材の中で建築材については、管内5社の製材会社へ直送し中間経費をなくし、高値売買を行っています。建築材以外のA材は木材市場に出荷しています。トビ腐れ材などのB材は、合板用として石川県の合板工場に販売をしています。また、根曲など低品質なC材は地元にある製紙用チップ工場や、オガ粉工場に出荷しています。しかし、需要量が少ないため、新たにバイオマス発電用として出荷を始めました。



合板用材を積んだ15t積トラック



中間土場を開設しました。

山ノ内町赤坂林産事業所

B材の石川県の合板工場への出荷と、C材の県外バイオマス発電所への出荷のため、山ノ内町にある赤坂林産事業所の土場を中間土場として活用しています。遠距離の出荷ですので、輸送コスト削減のため大量出荷が可能となるよう、各現場から中間土場に集荷して出荷しています。そして輸送手段も、大型車両での出荷となります。特にC材については輸送コストが利益還元のための大きな課題となります。写真にあるように、たいへん大きなトレーラーや、荷台が連結されたフルトレーラーで輸送しています。現在、C材は三重県に出荷していますが、新潟県のバイオマス発電所からの引合いもありますし、来春からは規模は小さなものですが、長野市内のバイオマス発電所からの引合いもきています。また、今後は広葉樹も取扱う予定で、管内の新ストープ用薪原木などへの販売を計画しています。



C材を運搬するフルトレーラー



ボルボ製の大型トレーラーも来ています。



来賓・主催者と記念標柱

北信州植樹祭開催されました。

今年では中野市壁田地区で開催されました。

クズの繁茂地にオオヤマザクラを植栽

若手職員の育林実習の場として活用

平成二十五年度北信州植樹祭が六月八日に、中野市壁田城山で開催されました。組合からは理事・監事が参加しました。今年では地区の植樹祭でしたが、四百人を超える参加者がありました。例年の倍近い参加となり、たいへん盛況な植樹祭となりました。

式典会場が北信合同庁舎駐車場で、植樹会場が壁田城址の下と、本所に近いこともあり本所職員が総出でスタッフとして運営にあたりました。また、「ねんりん」では、たこ焼きや焼き鳥などの軽食の販売を行いました。



今年も出ましたウエルンジャー

平成25年度

眼下に森林組合本所が望めます



植樹風景 (たいへん急傾斜だと言われましたが、組合の現場では、この程度普通です)

植樹後の管理については、現場が本所に近いこともあり、若い職員の育林実習の場として活用していきます。

若い職員には、木を植えて育てた経験のない者が多くいます。木を育てる苦労を、自身で知ることにより、皆さんへの確かな指導ができるようになると考えています。

また将来、造林作業が多く行われるようになった時に、この経験が生かされるものと考えています。

今年も、たいへん暑い夏でしたが、炎天下で三回下刈・ツル切を行いました。いつの日か、サクラの花が咲くのが楽しみです。



女性職員は汁物を担当しました



ねんりんのタコ焼き・焼き鳥

北信木質バイオマスフェア

中野市で開催されました！

木材の新たな利用の普及をめざして
全国のバイオマスボイラー製造会社8社が参加

六月一日に中野市の運動公園で、高水林業協議会（高森壽實夫会長）主催による、北信木質バイオマスフェアが開催されました。当組合も協賛として間伐材ペレット等の展示ブース出展と、運営スタッフとして参加しました。

搬出間伐事業の拡大とともに、低質材の出材が増加する中で、様々な利用と販売を模索しています。そうした中で、再生可能エネルギーとしての木質バイオマスも、新たな利用として重要な分野であり、当組合でも可能性を研究しているところです。

当日は、県内、県外から8社のバイオマスボイラー関連事業者が参加して、実物展示をしていただきました。

家庭用のペレットストーブから、ハウス加温用のボイラーの展示などあり、ハウス栽培の盛んな中野市の農家や、建設業者などが来場していました。



木質バイオマス先進地視察

兵庫県多可町の取組を視察

高水林業協議会では、会員と木質バイオマス関係者が参加して、六月二十三日、二十四日に木質バイオマス先進地視察を行いました。兵庫県多可町では、町バイオマスタウン構想に基づき、木質バイオマス供給センターを町が設置し、町営施設へのバイオマスボイラーの導入を進めるほか、ハウス栽培農家へのバイオマスボイラーの導入を勧めています。

木質バイオマス供給センターは町が設置して、北はりま森林組合に運営を委託しているもので、町内での燃料チップの安定供給を行うものです。燃料チップの安定供給は、原材料となる間伐材の供給はもとより、特に品質の安定が課題となります。

一定規格のチップを供給するため、スクリーンを二回通していますが、それでも規格外の物が混入して、サイロからボイラーへの搬送に支障をきたしてしまうことがあるそうです。また、含水率も加工時四〇％程度のもので二〇％まで落とす必要がありますが、販売価格そのものが安価であるため、コストを抑えるため、テント倉庫で自然乾燥を行うなどしていました。

今後、当地域での木質バイオマスの普及にあたっては、こうした課題の克服が重要であり、当組合でも、高水林業協議会での研究のほか、木質バイオマス熱利用推進連絡会議に参加するなどし、研究を進めています。



多可町木質バイオマス供給センター



多可町給食センターのチップボイラー

中部・北陸ブロック林業グループコンクールが開催されました

……長野県代表の高水林業協議会が第一席に選ばれ全国コンクールに……

八月二十八日、二十九日に山ノ内町のホテル水明館で、平成二十五年度中部・北陸ブロック林業グループコンクールが開催されました。本コンクールは全国林業研究グループ連絡協議会と開催県、開催県の林業研究グループ連絡会が主催するもので、ブロック内の8県（愛知・石川・富山・岐阜・福井・静岡・新潟・長野）で毎年順番に実施されています。8県代表の活動発表から第一席となったグループが全国林業グループコンクールの出場権を得ることになっています。今年も長野県が当番であり、開催場所が山ノ内町となったことから、県代表として高水林業協議会が発表を行いました。

これまで高水林業協議会では、平成一〇年に会員の「さかえ森遊クラブ」が、平成十八年に会員の「北信州の森林と家をつなぐ会」が中部北陸ブロックコンクールに出場していますが、ブロックコンクールで涙を吞んでいます。

今回は、これまでの会員団体による専門分野に限った活動発表から、協議会として林業全体をとらえた多面的な活動について発表しました。その結果、特に後継者育成活動による新規林業就業者の確保や、木質バイオマス関連での取組について、たいへん高い評価を得ることができました。長野県代表がブロック代表となることは、平成十一年以来のことですが、二月十八日の全国林業グループコンクールでは、これまで長野県代表が受賞したことのない、農林水産大臣賞をめざしているそうです。



下高井農林高校生にインターンシップを行いました。

……高性能林業機械の操作体験……

下高井農林高校の緑地工学コースの生徒に、林業就業促進支援事業によるインターンシップを行いました。

当日は木島平村内の搬出間伐現場で、山から木を集材するスイングヤーダや、集材した木の枝を払い、玉切りをするプロセッサや、玉切った丸太を積み込み運搬するフォワーダの操作を、組合職員が指導しながら行いました。

この研修を体験した生徒では、これまで二名が、当組合に就職をしております。

林産事業は事業成果が組合員の利益に直結するものです。それゆえに厳しい職場です。

そうしたことを覚悟のうえで、就職を希望する者が、出てくれれば幸いです。



高水林業協議会の紹介

平成六年、中高・飯水の林業関係団体が集結し発足する。

高水林業協議会は、平成六年に中野下高井（中高）の林業関係団体（林業経営者協会・林業研究グループ・特用林産・木炭生産など）と、飯山水内（飯水）の林業関係団体が、一同に集結して発足した団体です。

中高と飯水から一文字づつをとり、高水林業協議会と命名されました。

発足時、事務局は北信地方事務所林務課内に置かれ、各森林組合が支部事務局となりました。

運営にあたっては、会員からの会費と、森林組合からの助成を受けて行っています。現在の会費は年会費一名二千元で、五名以上で構成する団体については団体一万円となっています。

会長は発足時から、前組合長の原修一郎氏が就いていたことから、現在の組合長である高森組合長が受け継いでいます。会長は県林業普及協会の役員と県林業経営者協会の役員となっています。

会の組織（下記組織図参照）としては、林業経営者部会、林業グループ部会、きのこ（原木きのこ）部会、木炭生産者部会、山菜生産者部会があります。

これらの部会長は、副会長を務め、各々県団体の役員となっています。現在、規約上の事務局は北信州森林組

合に置かれています。事務局の幹事として、幹事長と副幹事長を森林組合職員が務めています。幹事は北信地方事務所林務課職員が務めております。

支部事務局も、森林組合合併後も引き続き各支所が受け持っております。

活動は、各部会ごとの活動のほかに、全体の活動として、会員同士のつながりを大切にした事業を行い、研修会や先進地視察、役員会、総会、広報誌発行など行っています。

会員は個人会員二十五名、団体会員四団体で、全体では五十余名となっています。発足時より会員が減少しておりますが、特に林業経営者部会の会員が減少傾向にあります。森林所有者（組合員）であればどなたでも入会できますので、会の活動に興味を持たれた方は、ぜひ入会をお願いいたします。

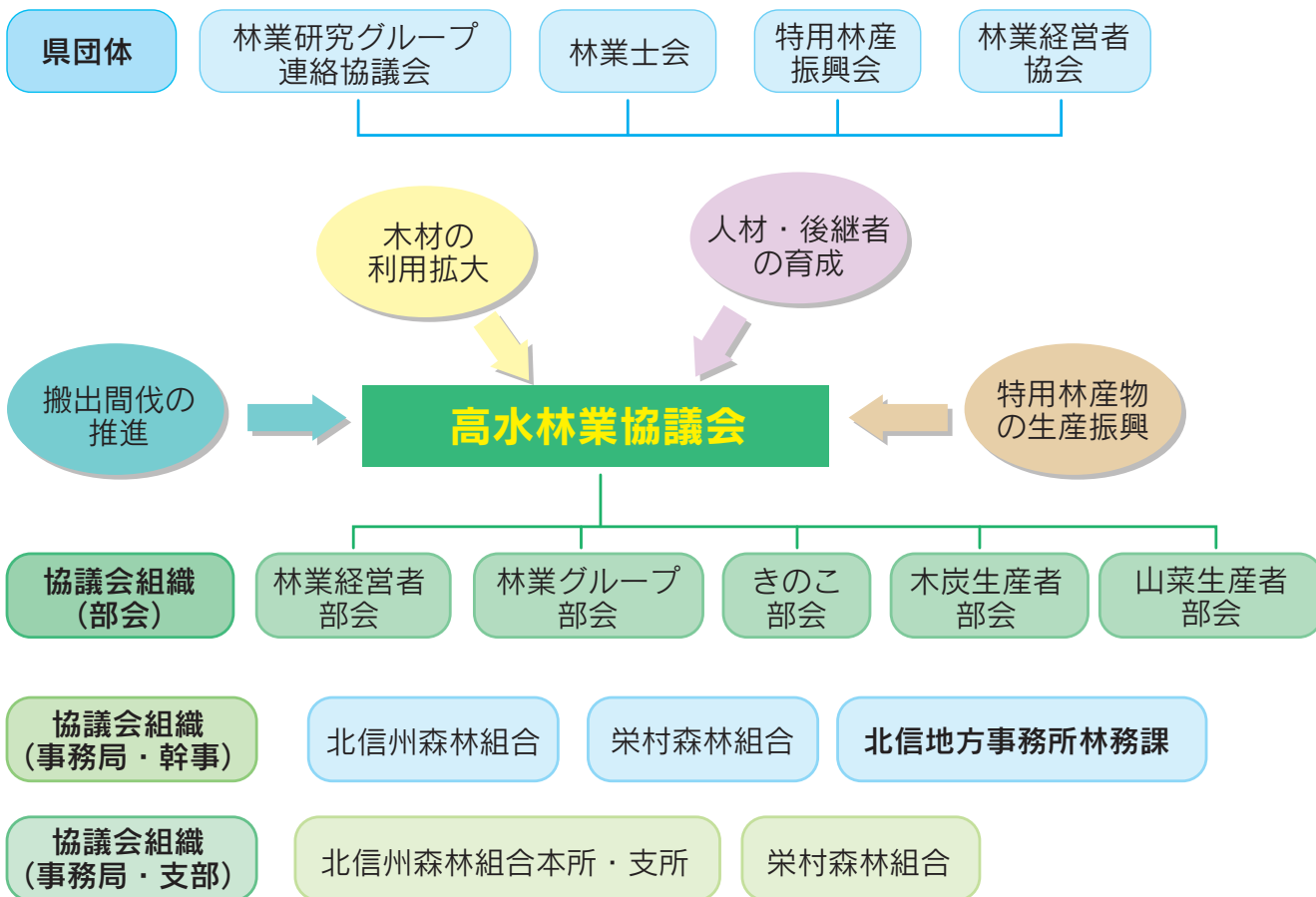
入会希望される方は、北信地方事務所林務課普及林産係か、各支所に申込みをしてください。

☆問合せ先 ☆

北信地方事務所林務課普及林産係

担当 上野主査

TEL 02696-23102（直通）





**組合ホームページを
リニューアルしました。**
より見やすいページとなりました。

URL : <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

これまで合併当初に立上げたホームページがありましたが、前時代的な物で、閲覧回数も少なく、機能していませんでした。今回、全体構成から全てをリニューアルして、誰からも検索されやすくし、内容もたいへん見やすいものになりました。

また、スマートフォンに合わせ、スマートフォンでも見やすいページとしてあります。

広報誌や販売品も掲載してありますので、上記のURLからご覧ください。

今後は、定期的に更新を行い、最新情報を皆様に配信してまいります。

ねんりんイベント

10月20日(日)
秋の収穫祭

11月23日(祝)
ねんりん感謝祭

組合のホームページのリニューアルに合わせて「ねんりん」のホームページを開きました。

イベント情報や食堂、売店、農林産物直売所のページもありますので、ぜひご覧ください。

ねんりんでは十一月までイベントを企画しておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。



ストリートビュー画像

ホームページのアクセスページでストリートビューを使うとR292からの組合本所の景色を見ることができます。ぜひお試しください。



森林組合からのお知らせです。



現在の役員任期および総代・参与委員の任期は下記のようにしております。
来年の選出に向けて、各地区での選出準備をお願いします。

現在の役員及び総代・参与委員の任期

理事・監事…………… 次の総代会終了までです。
総代・参与委員…………… 平成 26 年 5 月 10 日までです。
※次の総代会は現在の総代さんが出席します。

現在の選任区理事選出数

| 区 域 | 人 数 |
|----------------|-----|
| 第 1 区 中野市の区域 | 3人 |
| 第 2 区 飯山市の区域 | 4人 |
| 第 3 区 山ノ内町の区域 | 4人 |
| 第 4 区 木島平村の区域 | 3人 |
| 第 5 区 野沢温泉村の区域 | 2人 |
| 第 6 区 中野市豊田の区域 | 2人 |

現在の監事選出数

| 区 域 | 人 数 |
|------------|-----|
| 中野市・山ノ内町 | 1人 |
| 飯山市 | 1人 |
| 木島平村・野沢温泉村 | 1人 |

総代・参与委員選出数

| 区 域 | 総代数 | 参与委員数 |
|----------------|------|-------|
| 第 1 区 中野市の区域 | 22人 | 22人 |
| 第 2 区 飯山市の区域 | 72人 | 72人 |
| 第 3 区 山ノ内町の区域 | 38人 | 38人 |
| 第 4 区 木島平村の区域 | 27人 | 27人 |
| 第 5 区 野沢温泉村の区域 | 19人 | 19人 |
| 第 6 区 中野市豊田の区域 | 22人 | 22人 |
| この組合の区域全体 | 200人 | 200人 |

※地区によってこの他に連絡員等の選出があります。

これから各地区で総代選出に向けた会合等が必要になるかと思えます。

それぞれの支所・事業所の担当にご相談いただきますよう、お願いいたします。



| | |
|------------|---|
| 本所・中野支所 | 〒 383-0061 中野市大字壁田 938 番地 1 TEL 0269-38-0371(代) FAX 0269-23-5350 |
| 利用事業室・飯山支所 | 〒 389-2255 飯山市大字静間 383 番地 14 TEL 0269-62-8111 FAX 0269-62-8111 |
| 山ノ内支所 | 〒 381-0405 山ノ内町大字夜間瀬 6819-1 TEL 0269-33-8665 FAX 0269-33-8678 |
| 木島平支所 | 〒 389-2302 木島平村大字往郷 973-1 TEL 0269-82-3123 FAX 0269-82-3123 |
| 野沢温泉支所 | 〒 389-2592 野沢温泉村大字豊郷 9817 TEL 0269-67-0454 FAX 0269-85-3803 |
| 豊田事業所 | 〒 389-2192 中野市大字豊津 2508 TEL 0269-38-3111 FAX 0269-38-2774 |
| ねりりん | 〒 389-2613 野沢温泉村大字虫生 2383-1 TEL 0269-85-4441 FAX 0269-85-4441 |
| 直売所 | TEL 0269-85-4141 FAX 0269-85-4141 |

編集後記

早いもので今年も 10 月となってしまいました。台風 18 号では当組合管内では大きな被害はありませんでしたが、栄村森林組合では事務所が使用不能となり、震災以来、再び引っ越しとなりました。隣接組合として引っ越しのお手伝いや、お見舞いなどしましたが、関係者のご心労は計り知れません。

再び活気を取り戻して、正常業務に戻ることを役職員一同願っております。